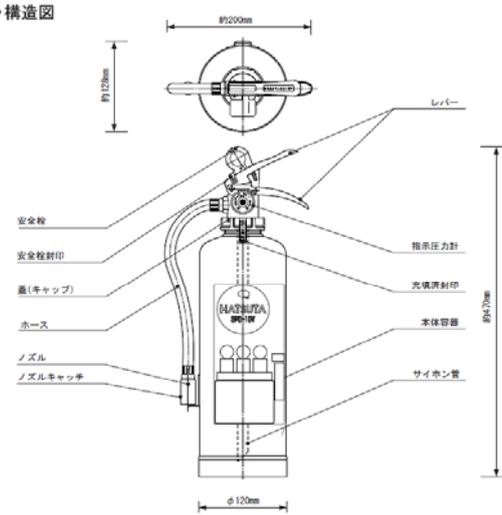
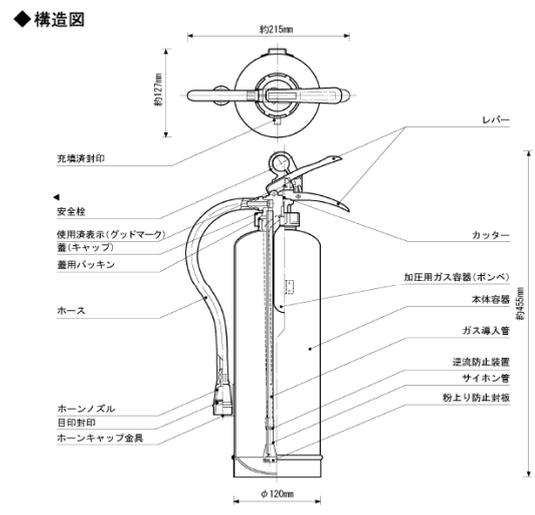
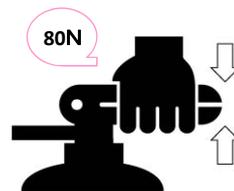
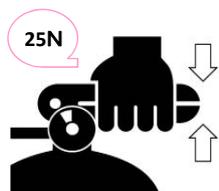


■ バーストレス(蓄圧式)・加圧式 比較表 ■

	バーストレス(蓄圧式)	加圧式
断面図	 <p>窒素蓄圧式は、容器内部にあらかじめ窒素ガスを蓄圧しておき、レバー操作によりバルブを開き、消火薬剤を放出します。</p> <p>炭酸ガスポンペ無し</p>	 <p>二酸化炭素加圧式は、内部に炭酸ガスポンペを内蔵し、レバーを操作することによりポンペを破封し、その圧力により、消火薬剤を放出します。</p> <p>炭酸ガスポンペを内蔵</p>
構造図	<p>◆構造図</p>  <p>約200mm (width), 約128mm (height), 約70mm (height), φ120mm (width)</p> <p>レバー、安全栓、安全栓封印、蓋(キャップ)、ホース、ノズル、ノズルキャップ、指示圧力計、充填済封印、本体容器、サイン管</p>	<p>◆構造図</p>  <p>約215mm (width), 約127mm (height), 約455mm (height), φ120mm (width)</p> <p>レバー、充填済封印、安全栓、使用済表示(グッドマーク)、蓋(キャップ)、蓋用パッキン、ホース、ホーンノズル、目印封印、ホーンキャップ金具、カッター、加圧用ガス容器(ポンペ)、本体容器、ガス導入管、逆流防止装置、サイン管、粉上り防止封板</p>
構造	常時、窒素ガス蓄圧0.98MPa	放出時、炭酸ガスポンペにて加圧
日常点検	圧力ゲージにて状況が把握可能	外観での判断(わかりにくい)
安全	容器腐食の場合、自然に圧力減少	容器腐食の場合、瞬間圧により破裂
環境	窒素ガスを蓄圧	加圧用にCO2ガスを使用
放出時	0.98MPa以下の圧力	瞬間的に1.2MPaまで加圧
放出状態	均一放出	加圧直後が最高圧力
ストップ機能	あり	なし(3.5kg以上あり)
レバー操作	小さな力で操作(25N・2.5kg)	力を要す(80N・8.0kg)



※ 小学1年生(6歳)の平均握力が「9.2N」→ 加圧式消火器のレバーを握るためには、大変な力を要します。(文部科学省資料抜粋)